

師岡熊野神社 星祭 家族の絆 短冊コンテスト 受賞作品

七夕賞 宮司賞

横浜市立小学校二年 女子

かぞくはね わたしにとって たからもの
たからを増やす あなたの笑顔
(子)
(母)

七夕賞 選考委員長賞

横浜市立小学校二年 女子

子よいかぞくへ
かぞくはね わたあめみたい ふんわりといつでもわたしつつんでくれる

七夕賞 親守詩賞

大阪市立小学校四年 女子

土曜日はママと二人でぼうけんだ
自転車ならべて心のままに
(子)
(母)

七夕賞

横浜市立小学校二年 男子

子よりおかあさんへ
おかあさん ぼくのいのちをありがとう
母より子へ

授かりしその瞬間より いついつも 笑顔をくれる 君に感謝

七夕賞

東京都公立中等教育学校二年女子

ありがとう 私の笑顔を取りもどす 家族みんなの 明るい笑顔

佳作

横浜市立小学校二年 女子

げんかんで いつもみおくり ありがとう
その背に思う 日々の成長
(子)
(母)

佳作

母より末子へ

君生まれ 家庭の中に 花咲いた

弟が 生まれてきたよ 嬉しいな

兄と二人で 守ってあげて

(子)

(母)

横浜 幼稚園年長 男子

佳作

母の日はカーネーションをあげたんだ いっぱい長持ち すごくうれしい

川崎市立小学校四年 女子

佳作

近すぎて 感謝の言葉 照れくさく 心の中で そつと 呟く

東京都公立中等教育学校二年女子

佳作

母より子へ

子を失くし 子宝の意味 深く知る

社会人 女性

特別賞

父より一人息子へ

かじりすぎ オヤジのスネは つまようじ

孫より祖父へ

じいちゃんの 持ち歌 小学唱歌と 軍歌だけ

社会人 男性

特別賞

子より母へ

母と二人 隣り合わせの 昼食は 幼き日々を 思いて なつかし

社会人 男性

※ (子) (母・親) は連歌形式で、子の5・7・5に親が七・七で答える内容になっています。